成蹊大学生と芸術・文化・福祉の専門家5名による　芸術と社会をつなぐ2時間

SEIKEI ART SYMPOSIUM 2022

手と手で人とつなぐ

2022年7月9日［土］ 13:00~15:00（12:30 開場）

| 会場 **武蔵野芸能劇場 小劇場**

- 東京都武蔵野市中町 1 丁目 15-10
- JR 三鷹駅北口より徒歩 1 分

※ 駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用してお越しください。

| 参加費 **無料**（要事前申し込み）

- zoom での同時ライブ配信あり（対面会場定員 100 名）
- 対面会場・配信共に右記 QR コードの事前申し込みフォームよりお申し込みください。

※ 必ず、参加を希望されるご本人様がお申し込みください。

○ LIVE 配信視聴用の zoomURL は、お申込みいただいたご本人様のみのご利用とさせていただきます。第三者への共有は固くお断り申し上げます。ご了承ください。
○ ご来場時はマスクの着用にご協力ください。ご協力いただけない場合は、来場をご遠慮いただく場合がございます。
○ 当日、体調不良や発熱 (37.5 度以上) があった場合は、来場をお控えください。来場時に体調不良や発熱 (37.5 度以上) がみられた場合は、参加をご遠慮いただく場合がございます。

| 主催　成蹊大学文学部芸術文化行政コース「成蹊アートプロジェクト」
| 提携　公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団 | 後援　武蔵野市 | 協力　特定非営利活動法人ペピータ

登壇者

小林真理 こばやしまり

東京大学 文化経営学専門分野
教授

専門は、文化政策学、文化経営学、文化資源学。文化政策の企画立案、文化行政制度の研究を行う。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程（行政法）を満期退学。早稲田大学助手、昭和音楽大学助手、静岡文化芸術大学講師を経て、2004年に東京大学に着任、現在に至る。博士（人間科学）。様々な地方自治体で文化行政制度の運営や制度設計に関わる。主な著書に『文化権の確立に向けて～文化振興法の国際比較と日本の現実』（勁草書房、2004年）など。

長津結一郎 ながつゆういちろう

九州大学 芸術工学研究院
准教授

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走／伴奏する研究者。
専門はアーツ・マネジメント、文化政策。障害のある人などの多様な背景を持つ人々の表現活動に着目した研究を行なっているほか、演劇・ダンス分野のマネジメントやプロデュースにも関わる。博士（学術・東京藝術大学）。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』（九州大学出版会、2018年）など。九州大学大学院芸術工学研究院助教を経て2022年6月より現職。

酒井陽子 さかいようこ

特定非営利活動法人ペピータ
理事長

特定非営利活動法人ペピータは障害のある方とご家族の健やかな暮らしの実現を使命に、2012年より日中一時支援事業ペピータくらぶと保護者プログラム事業を実施。自身の親4人の介護経験から支援者支援をライフワークに、現職では当事者の親への支援を常に考えている。支援の辛さ緩和に自分の思いや意見を他者に伝えることは有効で、言語以外の様々な自己表現が生きる原動力になると考える。日本社会事業大学大学院前期博士課程修了、介護福祉士、社会福祉士。

大西健太郎 おおにしけんたろう

パフォーマンス アーティスト

その場所・ひと・習慣の魅力を発掘し、それらと出会う過程を通じて「こころがおどる」風景を舞台としてパフォーマンス作品を制作する。異なる背景を持つ「他者」との協働を軸とした参加型のプロジェクトを行う。「こども創作教室〈ぐるぐるミックス〉」主宰／ディレクター。板橋区立小茂根福祉園〈「お」ダンス プロジェクト〉。手話を元にした詩の朗読表現「サインポエム」に着想した〈手レよむダンス〉を展開する。

川村陶子 かわむらようこ

成蹊大学文学部
教授

成蹊大学文学部国際文化学科教授。
専門は国際関係論（国際文化関係、文化外交、文化交流・多文化共生）。〈ひと〉の視点からみた、文化でみる・文化でつくる、広い意味での国際関係に関心を持つ。ドイツと日本を主なフィールドとして国際文化関係の運営を研究するかたわら、武蔵野市で文化・社会教育・市民活動推進関連の施策や活動にも関わる。主な著書に『国際文化関係史研究』（共編著、東京大学出版会、2013年）など。

SEIKEI ART SYMPOSIUM 2022

手と手でつなぐ人と人って？

アートプロジェクトから生まれる「発見」「悩み」「気づき」とは？
成蹊大学文学部芸術文化行政コースの学生たちが約１年間取り組んできたアートプロジェクト「マノ・マノ・ムーチョ！」。
当日は活動を通して生まれた課題や可能性について、芸術・文化・福祉の専門家である5名の登壇者とトークセッションを行います！

特定非営利活動法人ペピータ

NPO法人ペピータは、東京都武蔵野市を拠点に活動する特定非営利活動法人です。 障害のある方の「上質な生活」の追求や余暇活動・地域活動の推進、障害のある人とその家族が健やかな暮らしを実現・継続できる社会の実現を目指し、会員同士の情報交換等を図る会合、障害のある人を支援している人の支援、他業種連携による障害を多面的に考える機会の創出などの活動を行っています。

マノ・マノ・ムーチョ！

「マノ・マノ・ムーチョ！」は、スペイン語で直訳すると「手、手、いっぱい！」という意味になります。このアートプロジェクトでは、コース所属学生と、NPO法人ペピータの日中一時支援事業「ペピータくらぶ」の利用者が、言葉を用いずに「手」の動きや表情を通じて踊りの掛け合いをする「手の会話」を基にダンスパフォーマンスを展開します。 本プロジェクトの目的は、ペピータくらぶの利用者及びその関係者やご家族、地域の方々と成蹊大学文学部芸術文化行政コース所属の学生が交流して共に創作の過程を楽しむこと、アートを通じた新たなコミュニケーションの方法を模索することです。2021年度から相互の交流を行い、2022年6月19日(日)にはお披露目会をペピータスタジオにて行いました。

成蹊大学文学部芸術文化行政コース

本コースは、官民における芸術文化振興の担い手を育成することを目的として、2020年4月に開設されたコースです。行政やNPOによる芸術文化振興の実務を学ぶとともに、芸術文化を通じて様々な人々が共生できる社会を考えていきます。
今回のアートプロジェクト「マノ・マノ・ムーチョ！」と本シンポジウムも、芸術文化行政コースの授業の一環として行っています。

成蹊アートプロジェクト

「成蹊アートプロジェクト」は、成蹊大学文学部芸術文化行政コースが実施するアートプロジェクトです。成蹊大学と武蔵野市行政、市内の市民文化団体やNPO法人等の官民学三者間を本コースの学生が繋ぎ、主体的に企画制作を行うことで、武蔵野市における共生社会の実現を芸術文化の観点から目指します。

芸術文化行政コース公式ウェブサイトを
開設しました！ぜひご覧ください。

｜アクセス｜

武蔵野芸能劇場 小劇場
東京都武蔵野市中町1丁目15-10

◎ JR三鷹駅北口より徒歩1分
◎ 駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用してお越しください。